

2016年5月14日朝の会議事録

出席保護者：96名＋役員7名

1. T4A経過報告（ソープ運営委員長より）※T4Aに関する資料 別途参照

T4Aの発行検討に伴い、役員とセンターとの契約書作成において、弁護士の必要性を保護者に伺う。

ある弁護士からは依頼を受ける事は可能で1時間250ドル、恐らく契約書作成には2-3時間要する事になる（約500-750ドル）。

保護者1：役員の負担が無いようにプロに頼んだほうがスムーズに事が進むのではないかと。

保護者2：NPOの日本語センターを良く知ってもらった上で弁護士依頼を進めるとよい。契約書の原案はどう進めるのか。

ソープ：教員の契約書を原案に役員フォームを考えていこうと思っている。

保護者2：契約書のテンプレートがあるはず。

保護者3：契約をしない場合は問題があるか。

ソープ：問題があるかどうか、会計士、Revenue Quebecに聞き、その後弁護士に相談する流れになると思う。弁護士からはベーシックの契約でよいのではと言われた。

保護者4：過去にはT4AにするかT4にするか話合われていた。

役員についてはセンターとの雇用をコントラクト（契約）にするか、話し合っていたが以前まで（2012-2015）は授業料（二人分の子供の1年分）が免除されていた。

保護者5：2013年に会計監査が入った。その時に教員の雇用をT4AまたはT4にするかのチェックが入った。

保護者6：2013年当時の会計担当だった。

当時Revenue Canadaからの監査が入った。その時は雇用形態はT4Aでも良いと言う事になったが、Revenue Quebecからはどのように言われるかは担当者によって違うと言われた。役員については別なので、今後もチェックが入る可能性はある。

保護者7：日本語センターと同じような語学学校（NPO）にどのようにしてるか聞いてみてはどうか。

ソープ：検討します。

2. ベビーシッター係、ルームについて（阿部副委員長より）

お預かりするのは教員、役員のお子様のみで、一般の保護者が預けることはできません。現在はルームの一般開放はしておらず、話し合い中です。

3. 改善係より 今年度の改善議題について説明（川島氏より）

※詳細は、添付ファイル「朝の会改善係議事録」を参照

- ・40周年記念に2名係からお手伝い
- ・生徒指導
- ・行事係の仕事の役割、リーダーの仕事量について

4. 教材室にある不要になったスピーカーを差上げます。

お知らせメールに載せますので期限6月4日までに運営委員まで申し出て下さい。

5. 2015年度会計報告（2015年度会計担当より） ※別途資料参照

収入	\$78,432
支出	\$77,462
残り	\$970 → 税務署に申告する金額

※但し、普通の年度では使わない大きな支出が3つあるのでそれを除くと\$7,389の黒字

（1）過去の余剰金\$5,000ドルの使用

- ・コピー機、キャスター \$2,567
- ・本棚（前年度運営委員長が作成、寄付）
- ・スピーカー（必要ないとの結論）

（2）臨時図書購入

- ・収入が予算より\$2,300多かったので、その分を本の購入に使用してよいか朝の会で保護者に聞き、承諾されたものだが『収入が多かった』のではなく『黒字が\$2,300になる』と思われた方がいた模様。説明不足であったと補足があった。

1. 教員教材用\$1,500

- ・先生方から頂いたリストは約2,000ドル分だった為、Amazonの注文を2回に分けてポイント利用したり、家にあった本を寄付したりしたが、\$250ドル分は買えず、諦めてもらう形となった。

- ・ 幼児クラスが6クラスから9クラスに増えたが、今まで読聞かせ用の本の予算を特別にとっていなかったのが足りなかったのが少し増やす事が出来た。

2. 貸し出し用\$800

- ・ 図書係に漫画、児童書を中心に購入してもらった。

(3) 役員の授業料免除の清算

- ・ 朝の会にて、4月から役員も授業料を支払う事になった為、昨年度分\$1,242を清算。
- ・ 役員より品物を貰ったり、立替分を請求せずに寄付して貰った物が沢山あった。

※上記の理由の為、重複するが普通の支出を差し引いた黒字は\$7,389となるが、本の購入と役員の授業料の清算を加えると\$3,739の黒字となる。12月の予算では3学期に10回分授業料を徴収しても\$1,400の黒字にしかないはずだった。

<黒字が\$1,400にならなかった理由>

1. 収入面では、コーヒーなどが一気に\$200増加。

2. 支出面では、予算より\$3,600少なかった。

- ・ 一昨年に前倒して購入してもらった物は予め予算を少なめにしていたので項目別に比べると大差ない。

<\$400以上予算を下回った理由>

1. 会議費\$1,300の余り

- ・ 教員の数が増え、慰労会の参加数が増えると見込んだが実際は増えなかった。
- ・ 会議のお弁当も安い物にした。
- ・ 教員会議を欠席する先生もみえた。

2. 行事費\$750の余り

- ・ 一昨年はお金が足りておらず、あまり使っていなかったのが前年度を元に計算したが結局は昨年と大差ない。
- ・ 1人あたりの支出は\$8で、毎年減少している。
- ・ 3学期に行事が集中している為、最後まで分からない。

3. 教員教材費\$620の余り

- ・ 先生方から大型図書や児童書の購入を希望されたが、臨時図書を購入したので昨年は購入しなかった。これは生徒1人あたり\$10で年内に使う為のもの。

4. 副教材費\$460の余り

- ・ 過去5年の平均が\$1,600だった為、\$1,000で予算を立てたが実際には\$540しか使われなかった。
- ・ 今年度はまた平均に戻ると予想。

5. 図書\$400の余り

- ・一昨年はお金が足りておらず、\$1,000の予算だったのを昨年は例年通りの\$2,000に戻し 予算を立てたが全部使わなかった。

上記5つの主な理由から支出が約\$3,600少ない結果となった。

<その他の項目>

- ・先生方への謝礼金がクラス増設に伴い増えた。
- ・会計士料は野崎さんの御好意により、上記で購入出来なかった本を購入し、寄付して下った。
- ・大型備品は今までマイクを毎回音響係の方の私有物を使わせてもらっていたのでマイク1本と延長コードを購入した。

6. 2015年度役員有志による会計提案 ※別途資料参照

- ・NPOは収支0にする為、支出を決め、予算を立てる。
- ・黒字が多く出たので\$2,500で図書購入した。
- ・役員の手当は2人分の授業料を免除という形をとっていた。
- ・累積黒字が定期預金\$29,505、普通預金\$20,708があった。
- ・収支0は実際には非常に難しい、\$7,000の黒字は妥当なのか。
- ・帳尻合わせる為に大型備品購入する事は本当に必要なのか。
- ・三学期に黒字が多く出そうなら受講料を10回分のところを9回分で徴収するなど対策をとってはどうか。
- ・必要備品を前倒しで購入するなど対応。
- ・支出が収入の80%以下の年が5年くらい続くとNPOとしての資格を失う可能性がある。
- ・上記を防ぐ為に中間予算報告する事で会計の活動内容を明確にし、承認を得る必要がある。
- ・前年度に関しては\$7,000の黒字に対して返金または、大型備品購入か保護者に選択を与えるべきだったのではないか。
- ・会計は毎年収支0の為の調整が大変なので3年単位で調整した方がいいのでは。
- ・必要な物なら仕方ないが、欲しいと思う物を買う必要はないのではないか。年度末の不必要な購入を防ぐべき。
- ・急な授業料を上げる事を防ぐ。
- ・\$100以上の物品購入は保護者に問い、\$100以下は役員内同意の上で購入出来ればよいのではないか。

保護者1 : これらの3つの提案は誰が、具体的に将来的にどのようにするのか？

有志より : 改善係で取り組んではどうか。

改善係 : 有志が係に入って来年度から取り組んではどうか。

保護者2 : 決まり事を作ったらどうか。

保護者3 : 役員経験があるが、NPOの保護者会で承認を取り、今年から取り組んではどうか。既に4. 5年黒字なので、対応するべき。

予算決めについて、役員をしている時に先生からラミネートマシンが欲しいと言われた。保管場所がない、必要性があるのか疑問の声があった為できなかった。
毎年役員と教員で必要物品の話があり、マニュアル化しておけば、話し合う時間の無駄を省ける。

保護者4 :元会計担当であるが、黒字にするのも、赤字にするのも難しい。

授業料がセンターの主な収入源で、調整に関わる。

この提案の予算の見直しはなかなか難しい。授業料徴収回数を減らすなどで調整していた。

例)10回のところを9回にするなど。

保護者(前期会計):この黒字の目安はぎりぎりのラインを掲示しているが、そのライン内であればNPOの資格をなくさないというわけではない(微熱の表現で説明)。NPOの原則はあくまでも収支ゼロであることそこは誤解のないようお願いします。

11時55分まで朝の会が続いたため、提案に関する話し合いは次回持越しとなる。

以 上